

# 埼玉県の砂防発祥の地 七重川堰堤群

## <位置>

埼玉県比企郡ときがわ町大字大野

## <砂防指定地>

水系名 荒川  
幹川名 都幾川  
渓流名 七重川  
指定日 大正4年12月14日

## <その他>

土石流危険渓流 344-I-014  
流域面積 0.79km<sup>2</sup>



## <既往の評価>

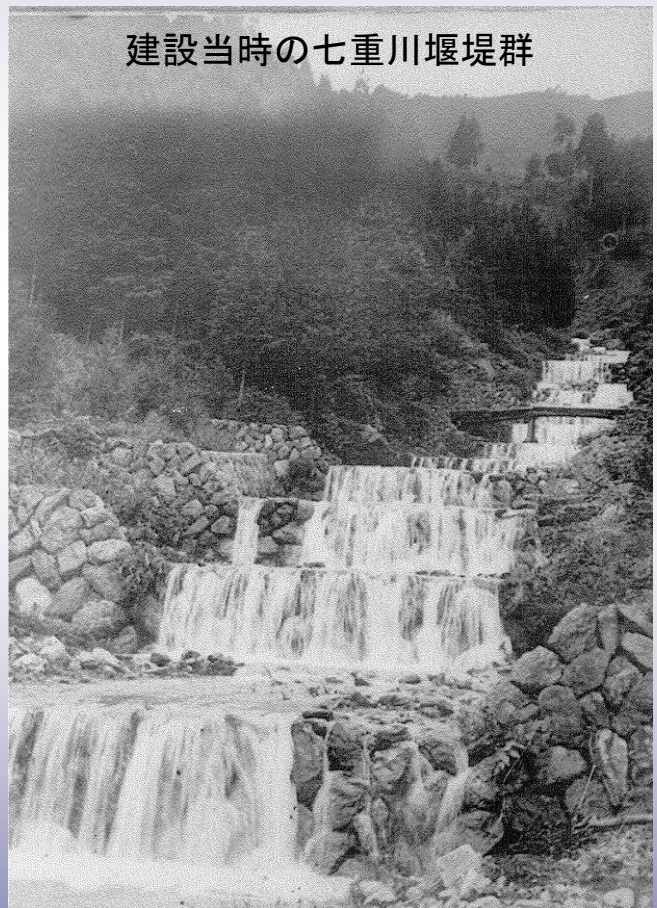
- ・埼玉県の砂防発祥の地
- ・大正5年着工した巨石空石積堰堤
- ・石積み技術は、岐阜県黒部の職人を使用
- ・野面石と蛇籠を使用した護岸を組み合わせた階段式床固工石積み
- ・日本の近代土木遺産2800選(土木学会)においてB評価

## <選奨土木遺産>

技術的デザインのすぐれたもの、ないしは由来やエピソードが豊富な構造物を「選奨土木遺産」として社団法人土木学会が認定・表彰しています。

近接、連続した堰堤から成る流路工で大正・昭和初期当時の砂防工法を遺すということから、平成19年度に受賞しました。

建設当時の七重川堰堤群



# 現況写真

## (1) 20数基以上の階段状堰堤群



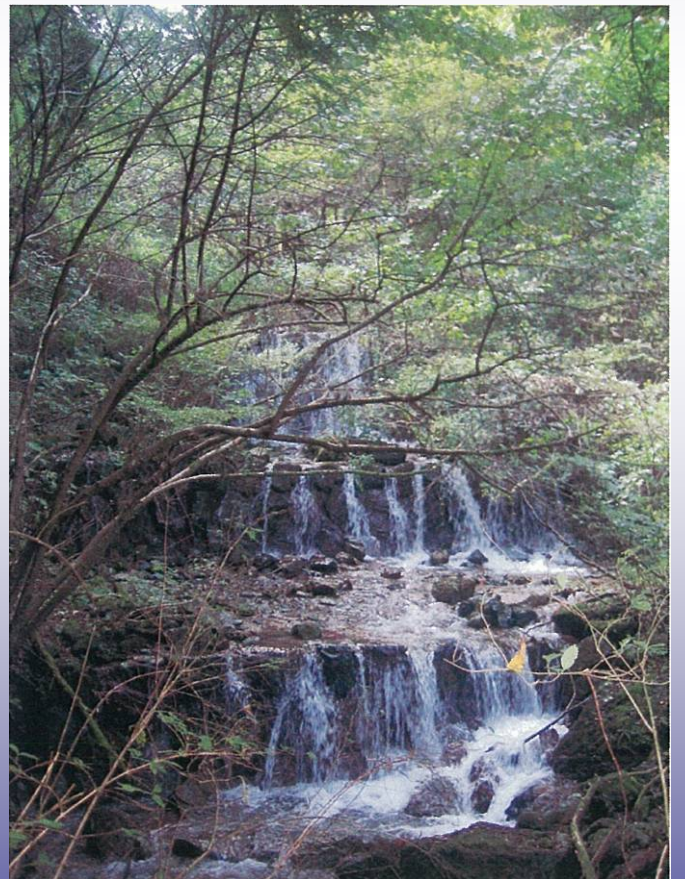
3段の階段状堰堤。



10段の階段状堰堤。周辺は植林の手入れがなされている。写真最上部に林道の橋梁が見える。



溪流の蛇行部までに6基の階段状堰堤が続く。



3基の階段状堰堤が続く。



不安定土砂や流木が溪流沿いを覆う。

## (2) 堰堤部の空石積（巨石谷積）



谷積に建造された堰堤部。堤体幅は10～15m程度が多い。積石は $\phi 0.5 \sim 0.7$ m級で水通しの底辺形状は水平。袖部の取付は台形と袖無しがはっきりしない。

### (3) 階段状堰堤群と護岸・護床工との組合せ



階段状堰堤は、堰堤、護岸工、護床工との組合せで構成されている。全て石積み。



階段状堰堤の護岸は、堰堤間の変曲点の多い細かな取り合わせがなされている。また、多段積に施工され、山腹工と併用される箇所もある。

### (4) 周辺環境と一体化した景観



周辺環境と馴染んで一体化した状態で、階段状堰堤による緩傾斜化により安定した流路を形成している。



### (5) 記念碑（砂防発祥地）



砂防法制定100年を記念し、七重川(ときがわ町)に本県砂防発祥地の記念碑を建立。

